

2024(令和6)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
参加される当事者とその家族との交流を通し、互いの不安や悩みを共有することで、安心できる居場所と仲間を作る。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2024年8月17日(土) 13時～15時半 定員15～20名
【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 交流会（近況報告）

3. 参加者数 4名（内訳：当事者0名、家族3名 専門職1名）

4. 当日の様子

今月の若年性認知症カフェは、お盆前でもあり参加される方が少なかったのですが、少ないからこそ“ゆっくり語らう”ことが出来た会になりました。近況報告をしながら、普段の困りごとや情報交換をしているとあっという間に時間が過ぎていく…そんな空間です。

5. 所感

普段は新しく参加した際に介護歴の長い家族さんが家族同士としてピアカウンセリングを担います。今日はそんな先輩達だけの少人数の集いになり、自分たちの近況について存分に語られました。来たときは疲労感の強い表情の家族が、帰りには笑顔で手を振って帰って行く…そんな場面を毎回目にしていると、集いの場の大切さを常に認識…会を継続するパワーの源になります。今回のスイーツは夏休みで県外から帰省している我が家のスイーツ男子、長男がババロアを作ってくれました♪。



★次回予定：2024年9月21日(土)

以上